

(仮称) 足柄スマートインターチェンジ地区協議会

設立趣意書

小山町は、静岡県の中東端に位置しており、世界文化遺産富士山を頂点とした富士外輪状の三国山系と、丹沢山地、そして金時山や足柄峠を含む箱根外輪山に囲まれた自然豊かな町です。

また、首都圏から 100km 圏内で静岡県東の玄関口に位置する、豊富な観光資源を有する地域であり、町内には東名高速道路の他、東京と静岡を結ぶ国道 246 号、山梨県富士五湖方面と連絡する東富士五湖道路、国道 138 号が通過しています。

小山町では、静岡県が推進する「防災・減災と地域成長を両立した魅力ある地域づくりを実現する「内陸のフロンティア」を拓く取組」に参画し、本スマートインターチェンジ設置を計画している東名高速道路足柄サービスエリア周辺地区を含む 3 地区の開発計画を中心とした小山町版「内陸のフロンティア」を拓く取組を町の重点施策に位置付け、この取組の実現に向け猛進しています。

本スマートインターチェンジ設置は、周辺地域と高速道路のアクセス性、利便性向上の他、隣接する観光拠点施設を核とした観光振興、物流の効率化、防災機能の強化、救急搬送の速達性にも大きく寄与するものと期待されます。

このため、国土交通省、静岡県、静岡県警察、中日本高速道路株式会社、御殿場市及び小山町が連携して、スマートインターチェンジの設置に向け必要な検討、調整を行い、供用後も継続して、社会便益、安全性、利用交通量、管理・運営形態等を定期的にフォローアップし、必要に応じ見直す場として、「(仮称) 足柄スマートインターチェンジ地区協議会」を設立するものです。

平成 28 年 5 月 18 日
小山町長 込山 正秀